

インストールガイド

AXIS T8125 AC 24 V ミッドスパン 60 W

日本語

法律上の注意事項

ビデオ、音声監視は法律によって禁止されている場合があります、その内容は国によって異なります。本製品を監視用途でご利用になる前に、ご利用いただく地域の法律を確認してください。

電波に関する適合性 (EMC)

本装置は、以下に関する適用規格を満たすように設計、試験されています。

- ・指示に従って設置し、想定環境内で使用する場合の無線周波放射
- ・指示に従って設置し、想定環境内で使用する場合の電気、電磁現象に対する耐性

米国 - 本装置は、シールドネットワークケーブル (STP) を使用した試験により、FCC 基準パート 15 に基づき、クラス B デジタルデバイスの制限への準拠の審査を受け、認証済みです。この制限は、住居設備における有害な干渉からの適切な保護を目的として規定されています。本装置は無線周波エネルギーを発生および使用し、また、放射する可能性があるため、指示にしたがって設置、使用しない場合、無線通信に干渉をおよぼすおそれがあります。ただし、特定の設置で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本装置が原因となってラジオまたはテレビの受信に干渉が発生し、本装置の電源の入/切によって本装置が原因であると確認できた場合は、以下の 1 つ以上の方法で干渉を是正してください。

- ・受信アンテナの向きまたは位置を変更する。
- ・本装置と受信機の距離を離す。
- ・本装置を受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに接続する。
- ・販売代理店または、経験あるラジオ、テレビ技術者に相談する。

欧州 -  本デジタル装置は EN 55022 のクラス B 制限に準じる RF 放射に関する要件を充足します。

本製品は EN55024 居住地および商業環境に準じる耐性要件を充足します。

カナダ - 本装置は、カナダの ICES-003 に準拠するクラス B デジタル装置です。

オーストラリア - 本デジタル装置は AS/NZS CISPR 22 のクラス B 制限に準拠した無線周波放射の要件を満たしています。

韓国 - 이 기기는 가정용(B급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

日本 - この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

安全性

本製品は、IEC/EN/UL 60950-1 情報技術装置の安全性に準拠しています。

商標

このインストールガイドで言及されている製品は PowerDsine のライセンス製品です。

RoHS

本製品は欧州 RoHS 指令 2002/95/EC、中国 RoHS 規則 ACPEIP に準拠しています。



WEEE 指令

欧州連合 (EU) は廃電気電子機器指令 (WEEE 指令) 2002/96/EC を制定しました。この指令は EU 加盟国に適用されます。



右に示す本製品の WEEE マークまたは本製品に添付の文書には、本製品を他の家庭廃棄物と一緒に廃棄してはならない旨が記載されています。人の健康や環境に危害を与える可能性を避けるため、本製品は必ず、認可された環境に安全なリサイクル処理に則って廃棄してください。本製品を適切に廃棄する方法の詳細については、製品のサプライヤー、または当該地域の廃棄物担当当局にお問い合わせください。

本製品のユーザーは、本製品の適切な廃棄方法について、サプライヤーにお問い合わせください。本製品を他の商業廃棄物と混在させないでください。

サポート

技術サポートが必要になった場合は、Axis の販売代理店までお問い合わせください。ご質問にすぐにお答えできない場合は、お客様をお待たせしないように、お問い合わせ内容が販売店から適切な窓口に送られます。インターネットに接続している場合は、次の作業を自身で行うことができます。

- ユーザードキュメントとソフトウェアアップデートのダウンロード
- FAQ データベースで問題解決法を検索。製品、カテゴリ、フレーズで検索。
- お客様専用のサポートページにログインし、Axis のサポートスタッフへ問題を報告
- Axis のサポートスタッフとチャットで話す（一部の国のみ）
- Axis サポート : www.axis.com/techsup/

法的責任

本書は細心の注意をもって準備されています。誤りや欠落を見つけた場合には、お近くの Axis オフィスまでお知らせください。Axis Communications AB は、いかなる技術上または印刷上の誤りについても一切責任を負わず、本製品および文書に予告なく変更を加える権利を留保します。Axis Communications AB は、市場性および特定目的への適合性に関する黙示的保証を含め（ただし、それらに限定されない）、本書の記載内容に関して、いかなる種類の保証もいたしません。Axis Communications AB は、本書の記載内容にしたがった機器の設置、性能、使用に関する間接的損害または結果的損害に責任も義務も負わないものとします。本製品は、その本来の目的でのみ使用してください。

安全の確保

本製品を設置する前に、このインストールガイドをよくお読みください。インストールガイドは後で参照できるように保管しておいてください。

注：

- ・ 本製品は、乾燥した通気のよい環境に保管してください。
- ・ 本製品に振動、衝撃または強い圧力を加えないでください。また不安定なブラケット、不安定あるいは振動する場所または壁面にカメラを取り付けしないでください。製品の損傷の原因となります。
- ・ 本製品を取り付ける際には、適切な工具のみを使用してください。不適切な工具を使用すると、製品に過剰な力がかかり、損傷することがあります。
- ・ 化学薬品、腐食剤、噴霧式クリーナーは使用しないでください。クリーニングを行う場合には、湿った布を使用してください。
- ・ 製品の技術仕様に準拠したアクセサリのみを使用してください。Axis またはサードパーティから入手することができます。
- ・ Axis が提供または推奨する交換部品のみを使用してください。
- ・ 製品を自分で修理しないでください。修理に関しては、Axis または Axis の販売代理店にお問い合わせください。

重要：

- ・ この Axis 製品は、地域の法律と規制に準拠して使用しなければなりません。
- ・ 本製品を屋外で使用する場合は、認定済みの屋外用ハウジングに収容して設置する必要があります。
- ・ 本製品の設置は、訓練を受けた専門技術者が行ってください。設置の際には、国、地域の関係法令を遵守してください。

輸送

注：

- ・ 本製品を運搬する際は、製品が損傷しないよう、元の梱包または同等の梱包を使用してください。

AXIS T8125 AC 24 V ミッドスパン 60 W インストールガイド

安全情報

AC インレット:

- AXIS T8125 に同梱される電源コネクタには 2 つの端子があります。図 2 を参照してください。
- 電源ケーブルは電流容量が 6A 以上のものを使用してください (端子あたり 12 AWG または 2×16 AWG)。
- 電源ケーブルは、電源がオフになっていることを確認してからコネクタ端子に接続してください。
- 高度な EMI パフォーマンスが必要とされる場合にのみ、ケースのグラウンド接続を作業エリアの "アース" につないでください。
ケースのグラウンド接続を "アース" に接続しなくても、安全上の問題はありません。
- 24 V AC 電源は、簡単に接続できるよう、AXIS T8125 の近くに設置してください。AXIS T8125 から AC 電源を切断するときは、24 V AC インレットを 24 V AC 電源または AXIS T8125 電源コネクタから切断してください。
- AXIS T8125 の DATA IN および DATA & POWER OUT インターフェースは IEC 60950-1 準拠の安全特別低電圧 (SELV) 回路に対応しています。これらのインターフェースは他の装置の SELV インターフェースにのみ接続することができます。
AXIS T8125 の "DATA IN"、"DATA & POWER OUT" ポートはシールドされた RJ45 データソケットです。従来の音声電話サービス用 (POTS) ソケットとして使用することはできません。ソケットには RJ45 データコネクタのみ接続可能です。

注意！

- ・ インストールガイドおよび安全情報を読んでから AXIS T8125 を電源に接続してください。
- ・ AXIS T8125 を電源に接続する際には、基本的な電気安全対策を講じてください。
- ・ 電圧の不一致は、装置の損傷および火災の原因となることがあります。ラベルに表示されている電圧とコンセントの電圧が異なる場合は、AXIS T8125 をコンセントに接続しないでください。
- ・ インレット端子の接続には十分に注意し、ケースのグラウンド接続に触れるとがないように作業してください。

取り付け手順

AXIS T8125 は、卓上に設置するか、背面の取り付け用スロットを利用して壁などに設置することができます。

1. 図 1 に示すように 2 本のネジ (付属していません) を使用して壁または棚に取り付けます。
2. AXIS T8125 の取り付け用スロットとネジの頭の位置を合わせて、AXIS T8125 が壁などにしっかりと固定されるように調節します。

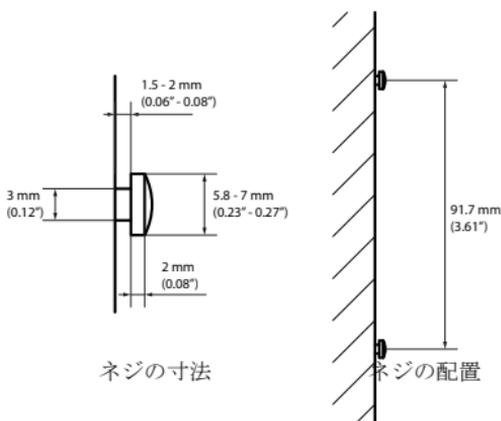


図 1

機能と特長

高出力なギガビットシングルポート PoE (Power over Ethernet) を実現する AXIS T8125 ミッドスパンは、データ伝送用のイーサネット配線を通じて電力を供給します。IEEE802.3at draft 3.2 および IEEE802.3 標準に準拠し、二重化された電力 (60 W) を提供します。AXIS T8125 の DATA & POWER Output ポートは、標準的な CAT5e 以上のケーブルを介して、以下の 4 組のピンでギガバイトイーサネットデータおよび電力を伝送するように設計されています。

- Alt A: ピン 1、2 (-) および 3、6 (+)
- Alt B: 4、5 (+) および 7、8 (-)

準備

- AXIS T8125 に 24 V AC が供給されていることを確認します。端子あたり 12 AWG または 2×16 AWG のケーブルを使用し、必要に応じて、適切な隔離されたグラウンド接続を行います。
- 出力イーサネットケーブルが DATA & POWER OUT ポートに接続されていることを確認します。
- 給電対応イーサネット互換デバイスが接続されていることを確認します。
- AXIS T8125 を覆ったり、PoE への空気の流れが他の物体によって阻害されないようにします。AXIS T8125 は、極端な高温や高湿度、振動やホコリ、直射日光にさらさないようにします。
- イーサネットネットワークソースから端末機器までのケーブルの長さが 100 メートルを超えないようにします。AXIS T8125 は中継装置ではないため、イーサネットデータ信号を増幅しません。
- 必要に応じてスプリッターを使用してください。スプリッターは AXIS T8125 ではなく、端末機器に近い側に接続してください。
- "オンオフ" スイッチはありません。24 V AC 電源を AXIS T8125 に接続するだけです。

注意！

AXIS T8125 の出力ポートと負荷デバイスをクロスオーバーケーブルを使用して接続しないでください。

ユニットの設置

1. 24 V AC 電源がオフになっていることを確認します。
2. ケーブルを AXIS T8125 の入力ターミナルコネクタ (端子あたり 12 AWG または 2×16 AWG) に接続します。
3. ケーブルをターミナルコネクタに接続した後、4 本のコネクタネジをしっかりと締めます。図 3 を参照してください。
4. データスイッチのパッチパネルと入力イーサネットポート (DATA IN) をケーブルで接続します。図 4 を参照してください。
5. 端末機器を出力ターミナルポート (DATA & POWER OUT) に接続します。図 4 を参照してください。
6. 24 V AC 電源をオンにして LED が正しく点灯するかを確認します。12ÉyÅ[ÉW の表を参照してください。

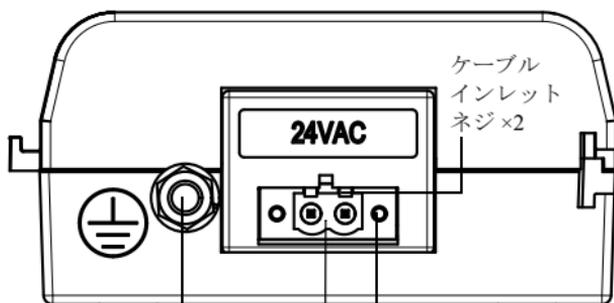
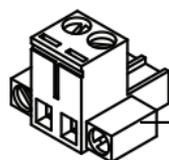


図 2



ケース
接続

24 AC 入力
ターミナルブロック

ターミナルコネクタ

図 3

AC 入力接続
表示 (メイン LED)

ポート接続
表示 (ポート LED)

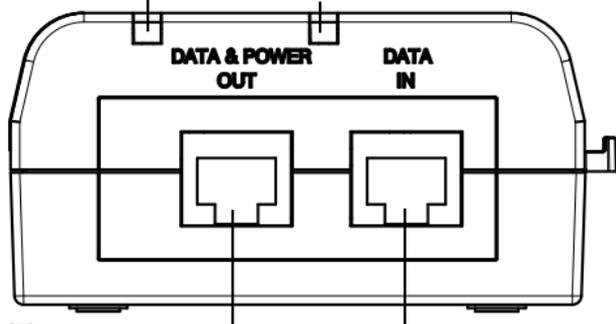


図 4

出力
ターミナルポート
(DATA & POWER OUT)

入力
ターミナルポート
(DATA IN)

インジケータ

メイン LED	オフ	緑
緑	電源オフ	電源オン (通電中)

ポート LED	挙動
オフ	切断。未接続または負荷が接続されていない
緑で点灯	データペアおよびスペアペアによる給電
1 秒ごとに緑で点滅	ポートが 4 つのペアで給電された結果、ポートがオーバーロードまたはショートした

仕様

環境仕様

モード	温度	相対湿度
動作時	-10 °C ~ 40 °C	最大 95% (結露しないこと)
保管時	-20 °C ~ 70 °C	

電氣的仕様

入力電圧	24 V AC +/- 20% (50/60 Hz)
入力電流 ($V_{IN} = 24 \text{ V AC } +/- 20\%$)	最大 6 A
出力可能電力	最大 60 W
通常出力電圧	53.5 ~ 55.5 V DC

イーサネットインターフェース

入力 (DATA IN)	RJ45 メス型ソケット
出力 (DATA & POWER OUT): イーサネット 10/100/1000Base-T + 55 V DC	RJ45 メス型ソケット、ワイヤペア 1-2、3-6、4-5、7-8 に DC 電圧

トラブルシューティング

現象	修正手順
AXIS T8125 の電源が入らない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源を切断し、その後再投入して、電源投入シーケンス中のインジケータの状態を確認します。 2. インレットの電圧が 24 V AC \pm 20% の範囲内にあることを確認します。 3. 電源ケーブルが正常に機能することを確認します。
ポートインジケータが点灯せず、AXIS T8125 が動作しない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受電側デバイスが PoE に対応しているかを確認します。 2. 4つのワイヤーペアを有する標準カテゴリ 5/5e/6 のストレートケーブルが使用されているかを確認します。 3. 入力イーサネットケーブルが DATA IN ポートに接続されていることを確認します。 4. 受電側デバイスが DATA & POWER ポートに接続されていることを確認します。 5. パワースプリッターを使用している場合は、正常に動作しているかを確認します。 6. ツイストペアケーブルまたは RJ45 ケーブルに短絡 (ショート) がないことを確認します。 7. 受電側デバイスを別のミッドスパンに接続し、動作を確認します。
端末機器は動作しているが、データリンクが確立されない	<ol style="list-style-type: none"> 1. フロントパネルのポートインジケータが点灯し続けていることを確認します。 2. 4つのワイヤーペアを有する標準の UTP/FTP カテゴリ 5 のストレートケーブルが使用されている (クロスオーバーケーブルではない) ことを確認します。 3. イーサネットソースから負荷 / 端末機器までのイーサネットケーブルの長さが 100m を超えていないことを確認します。 4. パワースプリッターを使用している場合は、正常に動作しているかを確認します。 5. 受電側デバイスを別のミッドスパンに接続し、動作を確認します。

保証

Axis の製品保証と関連情報については、www.axis.com/warranty をご覧ください。

インストールガイド

AXIS T8125 AC 24 V ミッドスパン 60 W

© Axis Communications AB, 2012-2013

Ver.1.1

発行 : 2013 年 3 月

文書番号 : 50989